

水道施設が語る100年

ほんじょうすいげんちえんていすいどうしせつ

本庄水源地堰堤水道施設

○所在地 呉市押込1丁目

○完成 大正7(1918)年2月

○概要 海軍が海軍施設拡張に伴う水不足に対処するため、二河川を遮って堰堤を設け貯水池を築造したもので、当時は東洋一といわれるほど大規模なものでした。
本庄水源地堰堤水道施設は、花崗岩を用いた豪華で美しい外観で、高い施工精度を持っています。
これらは、当時の海軍土木技術の粋を集めたものであり、現在も呉市水道の基幹施設として利用している点で高い評価を受け、平成11(1999)年5月に「国重要文化財」に指定されました。

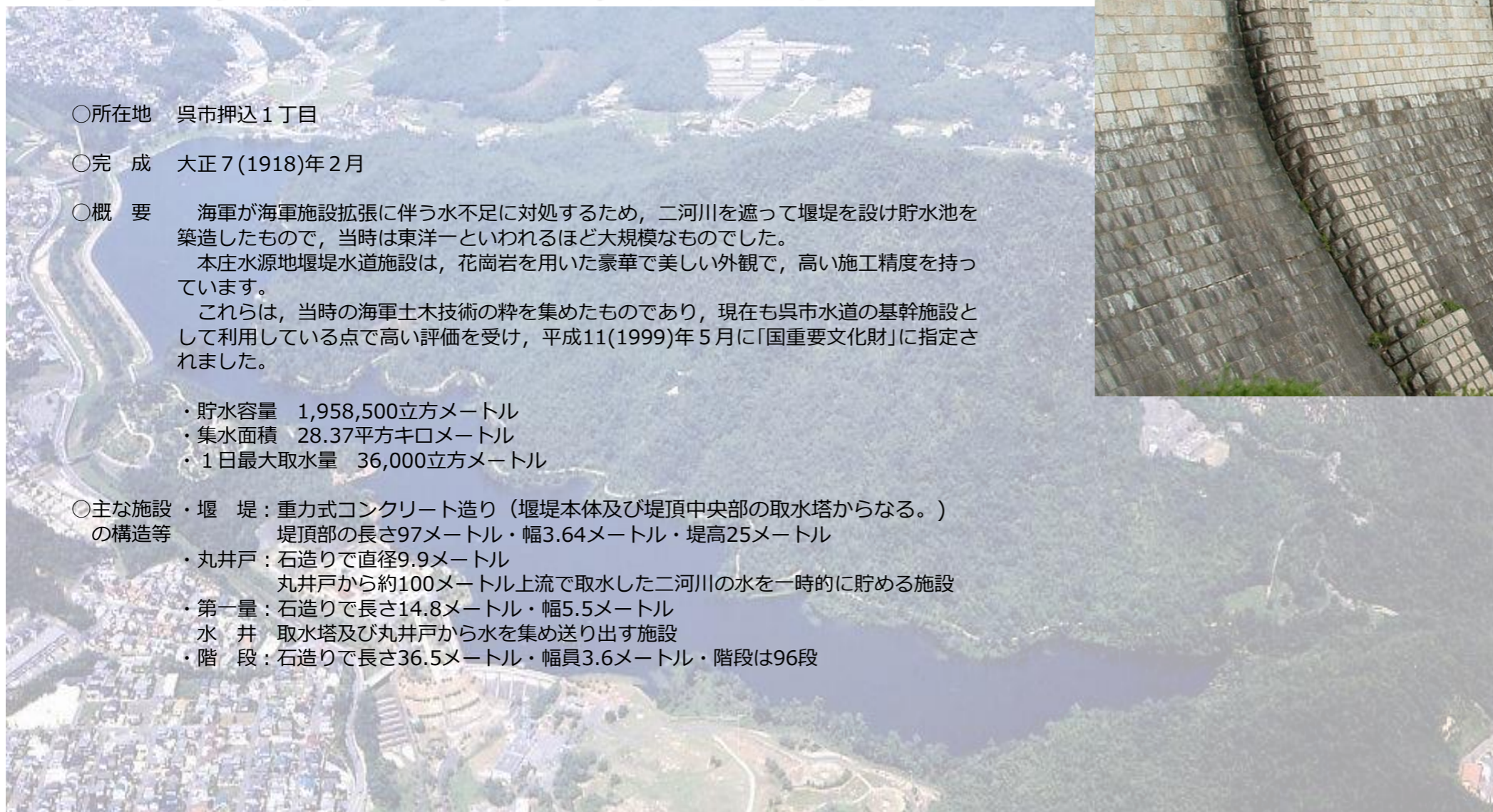
- ・貯水容量 1,958,500立方メートル
- ・集水面積 28.37平方キロメートル
- ・1日最大取水量 36,000立方メートル

○主な施設の構造等

- ・堰堤：重力式コンクリート造り（堰堤本体及び堤頂中央部の取水塔からなる。）
堤頂部の長さ97メートル・幅3.64メートル・堤高25メートル
- ・丸井戸：石造りで直径9.9メートル
丸井戸から約100メートル上流で取水した二河川の水を一時的に貯める施設
- ・第一量水井：石造りで長さ14.8メートル・幅5.5メートル
取水塔及び丸井戸から水を集め送り出す施設
- ・階段：石造りで長さ36.5メートル・幅員3.6メートル・階段は96段



堰堤



丸井戸



第一量水井



階段



国重要文化財[平成11(1999)年5月]

ダム湖百選[平成17(2005)年2月]

日本遺産[平成28(2016)年4月]

記念碑